

【学校教育目標】「感謝の心を持ち、自ら学び、たくましく生きる子供の育成」



学校だより 堂崎つ子

第 5 号

令和 7 年 5 月 20 日
南島原市立堂崎小学校
校 長 末吉 優

あいさつから感じること

「おはようございます」と気持ちの良い爽やかなあいさつ。そして、低学年と思われる女の子の視線を感じたのです。それは、ゴールデンウィーク中の出来事でした。ずいぶんにぎわっていた場所でしたので、本校の児童かなと思い、顔と名前を一致させようと思ったのですが、なかなか思い浮かびませんでした。短時間での出来事でしたので、「なるほど、おそらく女の子が知っている人へのあいさつだったのかなと推察しました。「どこの小学校ですか？」と尋ねると、「〇〇小学校です。」と答えました。

「すごいよね。しっかりあいさつができるんだね。」「おそらく、間違えられたのじゃない？」と家族で会話を交わした次第でした。何だか、うれしく、そして、得をした感じてした。

自転車点検・交通安全教室【5月2日(金)】

4連休前日ではありましたが、登校の際、自分で自転車をおして来る児童がいました。また、朝から自転車を運んでくださった保護者もおられました。改めてお礼を申し上げます。

23台の自転車が運動場に並べられ、長橋自転車・内藤自転車様から各種点検をしていただきました。最近の子供の自転車は新しいという話を聞きましたが、「乗る前にしっかり点検をし、ヘルメットを着用し、安全に乗ることが大切です。」とおっしゃっていました。

早速、2校時の交通安全教室で、1～3年生は、南島原市交通安全協会の指導員の方や有家町内の交通指導員の方から、道路の歩き方、横断歩道の渡り方の説明を受けました。その後、運動場に設けたコースの中で、道路の歩行や横断歩道の渡り方の練習をしました。話しながらの歩行やふざげながらの歩行をしていると、つい白線の外を歩いたり、車に気付かないことがあったりして、大変危険であると確認されました。

また、3時間目に実施された4～6年生の「自転車の乗り方」については、特に点検の具体的な仕方、道路の走る場所について説明を受けました。その後、実際に、自転車運転の練習を行いました。前後左右の確認をしながらの運転は多少技術を要しました。自転車を大切にするために、「交通ルールを守る。命を大切に。」ということを確認されました。



代表委員会(5月1日実施)から

本年度初めての代表委員会が行われました。主な議題は、「運動会のスローガンを決めよう」でしたので、各学級で練り上げたスローガンを持ち寄り、より良いものにしようと思いをし合いました。若干緊張した様子もありましたが、勇気を出して発表する姿に子供たちの真剣さが伝わりました。

経験を積むことにより、一步一步成長していくのだなと実感した次第です。運動会スローガンは、「やればできる! 勝利を目指せ! 楽しい運動会」と決定しました。

全体練習、それぞれの学年、低学年・高学年ごとの練習に励んでいるところです。天候が心配されますが、5月25日(日)実施できることを願っています。



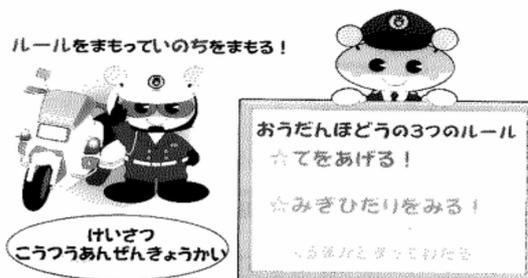
第43回島原半島文化賞授賞式 第12回宮崎康平賞小中高生文芸コンクール表彰

- ◇ 短歌の部 小学生の部 奨励賞 5(現6)年 さん
「正月に かぜがはやって いとこ居ず 北風がふく へやの静けさ」
- ◇ 俳句の部 小学生の部 奨励賞 4(現5)年 さん
「書道展 銀賞いただく 冬の虹」



口之津警察署からのお知らせ

口之津警察署から新1年生へ 「自分を守るためのやくそく」と「ルールを守って命を守る」というカードが配付されました。1年生に限らず、自分の命を守るために、それぞれの対応の仕方を身に付けさせたいですね。



いのりの灯「キャンドル作り教室」(5年生)

5月15日(木)、がまだすドームボランティアの皆様をお招きして、5年生13名が、総合的な学習の時間「普賢岳との共生」の学習を行いました。

はじめに、雲仙岳災害記念館館長の 杉本 伸一 さんから「雲仙・普賢岳 平成噴火災害」についてビデオメッセージをいただきました。当時の普賢岳や溶岩ドーム、土石流、火砕流、人々の生活の様子について講話をしていただく中で、3つの涙(①大切な命が失われた:悲しみの涙 ②人間の力ではどうにもならない自然の力の大きさ:くやしい涙 ③全国からの支援:うれしい涙)について話されました。

杉本さんは、「過去にどんな災害があったか、自分たちがどんな所に住んでいて、どのような備えをすればよいか考えることは、自分の命や家族の命、近所の人



命を救うことにつながる。」と話されていました。

その後、持ち寄った牛乳パックと溶かした蠟を使ってキャンドル作りを行いました。冷やして取り出した蠟に、クレヨンを使って平和を願う、思いの絵やメッセージ(願い)をかいて、6月3日に灯されるキャンドルを作成しました。

子供たちは、雲仙岳(火山)と共存していることを感じたことと思います。キャンドルにすなおな思いを書き、描くことで、改めて、子供たちの豊かな

心を育てる取り組みの一環だったと思います。祈りの灯キャンドル作りをスタートに旧大野木場小学校跡・災害記念館見学を経て、噴火災害について学びを深めていきます。

6月3日の点灯式(19:00 雲仙岳災害記念館)、時間が許される方は、ご家族で参加されてはいかがでしょうか。

